

株式会社ウィルズ
FY2023 決算説明資料

2024/2/19

目次

1 FY2023 通期実績

2 通期業績見通し

3 成長戦略

目次

1 FY2023 通期実績

2 FY2024 通期業績予想

3 成長戦略

通期実績ハイライト

連結売上高及び営業利益は堅調に推移

売上高はプレミアム優待倶楽部の既存顧客のポイントの増加及び新規受注により前期比117.4%

営業利益は売上高の増加により、人件費増加を吸収し、前期比130.2%

親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失（新型IRナビの開発により生じた減損損失）が生じたものの前期比121.3%

株主管理プラットフォーム事業は大幅増収

プレミアム優待倶楽部の契約社数は前期末から10純増の90社。売上高は、既存顧客のポイントの増加及び新規受注により前期比114.4%。IR-navi単体の顧客数が増加し、サステナビリティソリューションズは大型案件の受注もあり、株主管理プラットフォーム事業の売上高は3,877百万円、前期比114.2%の増収

連結子会社は黒字化へ

連結子会社のネットマイルは、自社媒体 Web広告の売上が増加したことにより、広告事業の売上高は前期比145.6%これまでの構造改革の効果により、筋肉質な体質に変化したことで黒字化へ。

決算の概況

売上高は4,481百万円（前期比117.4%、計画比110.6%）で着地し8期連続増収

営業利益は915百万円（前期比130.2%、計画比121.9%）と過去最高益を更新

親会社株主に帰属する当期純利益は507百万円（前期比121.3%、計画比101.8%）

	FY2022	FY2023	FY2023	前期比		計画比	
	通期実績	計画	通期実績	金額	%	金額	%
単位：百万円							
売上高	3,816	4,049	4,481	664	117.4	431	110.6
売上総利益	1,721	1,825	2,088	367	121.3	262	114.4
営業利益	703	750	915	212	130.2	164	121.9
（営業利益率）	18.4%	18.5%	20.4%	2.0%	—	1.9%	—
経常利益	693	745	911	218	131.5	166	122.3
親会社株主に帰属する当期純利益	418	498	507	89	121.3	9	101.8
EPS	21.03	23.83	24.39	3.36	116.0	0.56	102.3

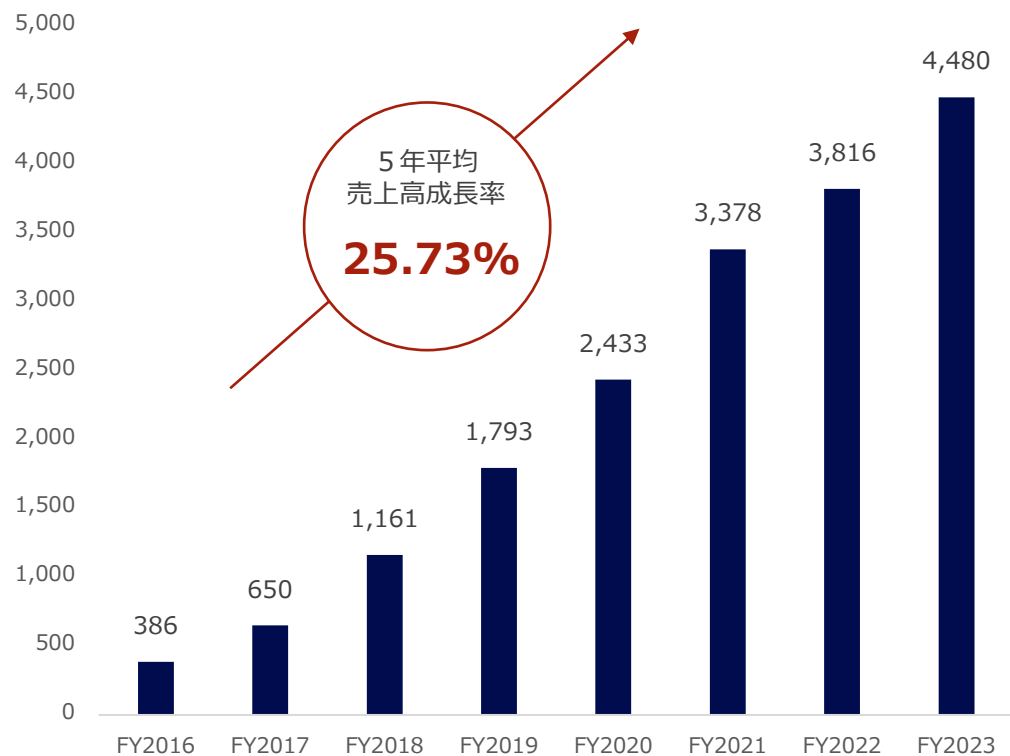
売上高及び営業利益の推移

連結売上高の5年平均売上高成長率は25.73%、8期連続増収

連結営業利益も、成長に伴う販管費の増加を吸収しながら7期連続で最高益を更新

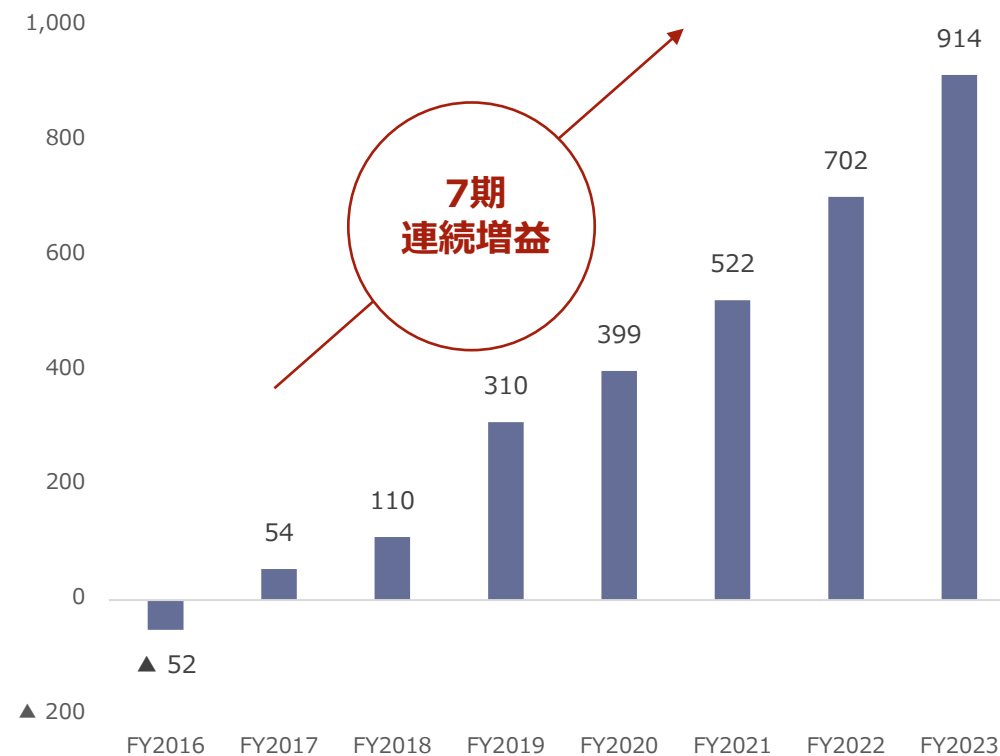
連結売上高推移

(単位：百万円)



連結営業利益推移

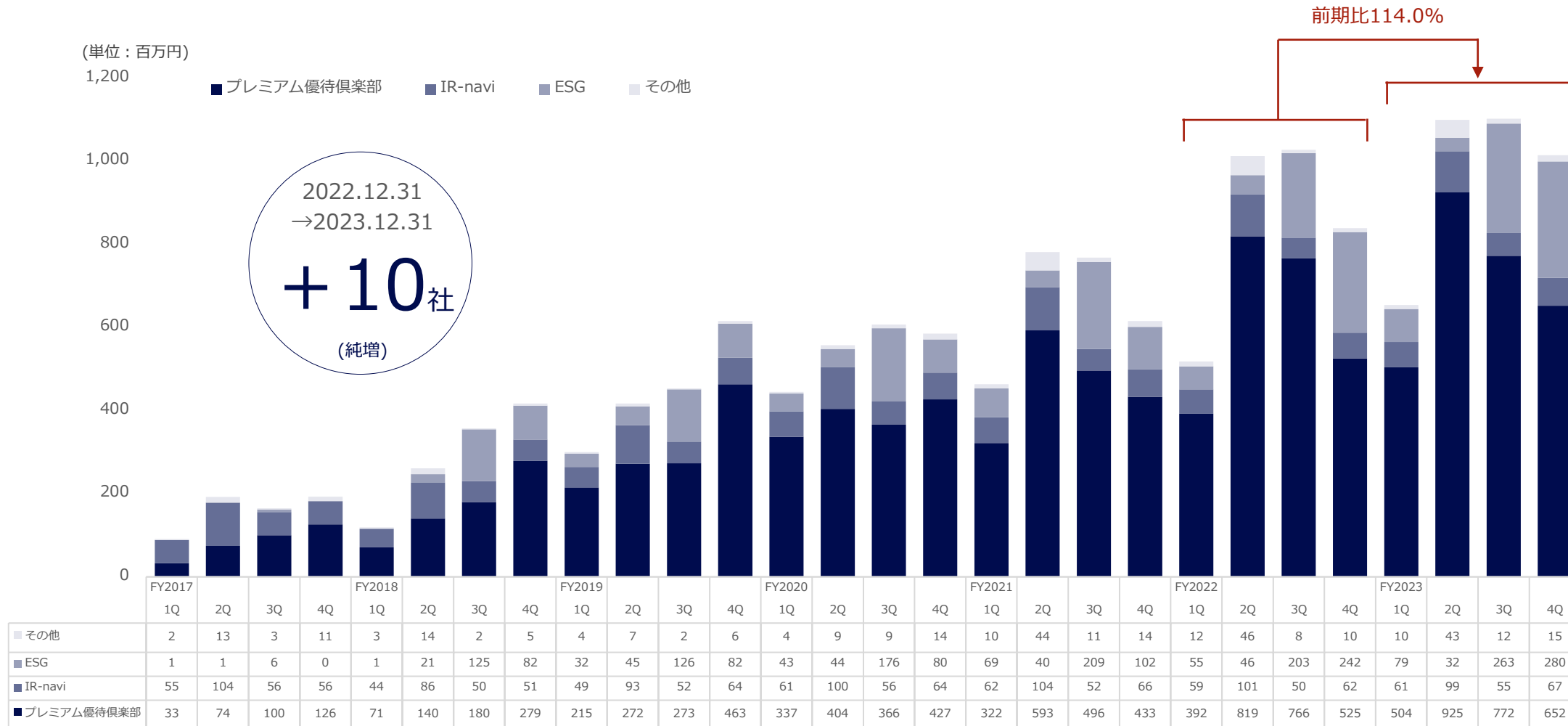
(単位：百万円)



(注1) 2020年12月期第4四半期より株式会社ネットマイルの完全子会社化により、連結決算に移行しております。

四半期別売上高推移（単独）

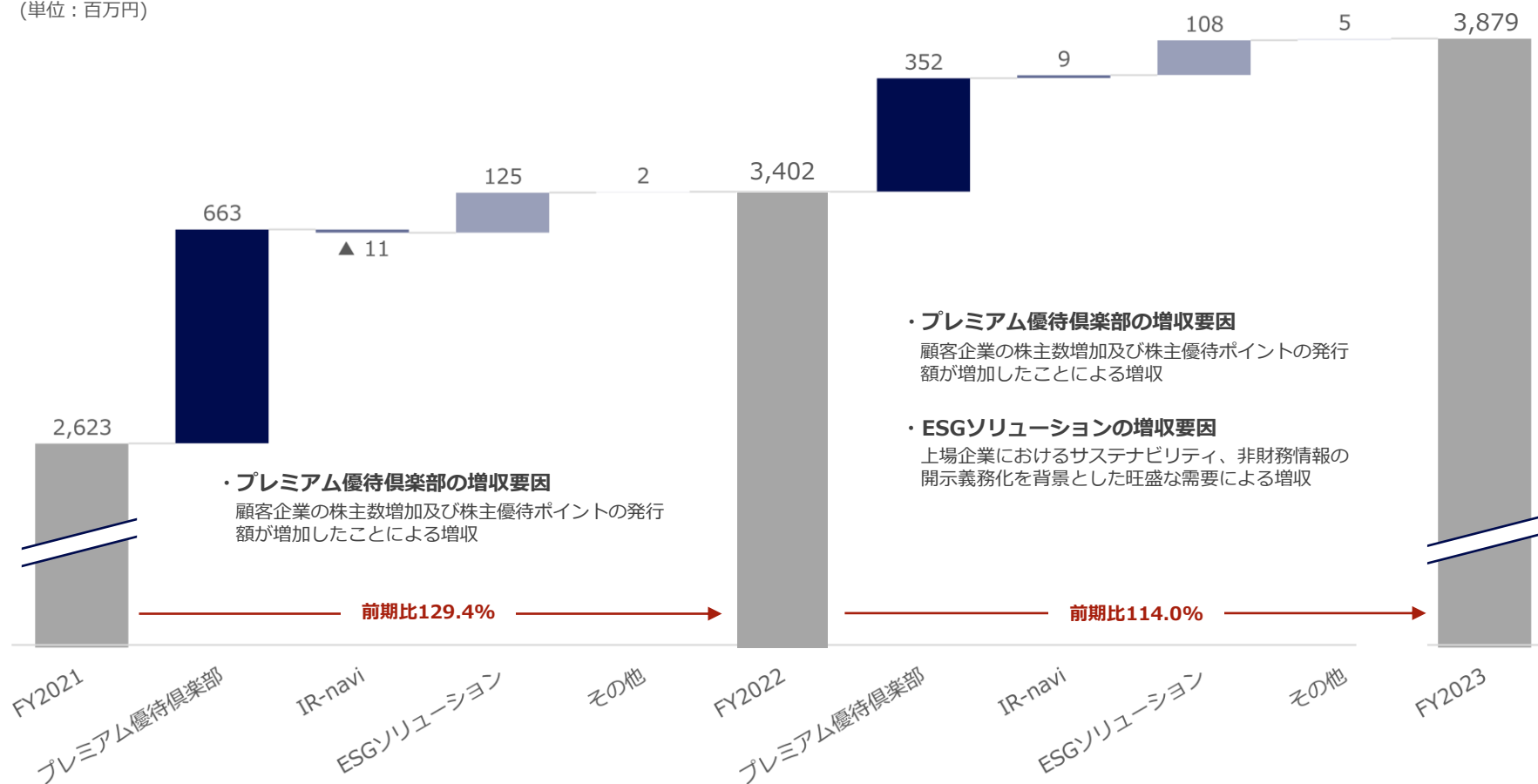
プレミアム優待倶楽部、及びIR-naviの契約社数の純増、統合報告書の企画制作案件の受注数増加により、各四半期で前期を上回る水準で着地



売上高増減分析（単独）

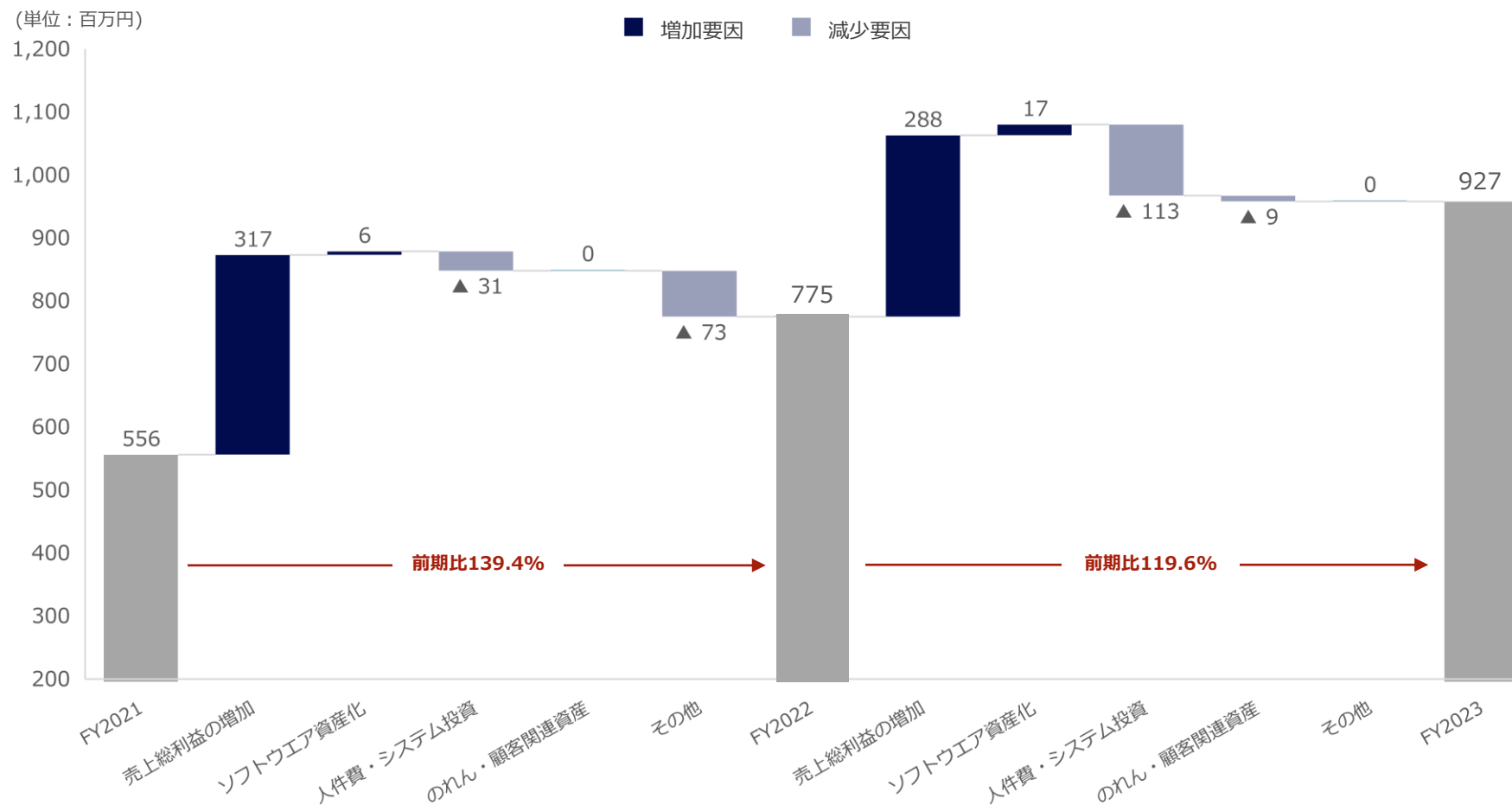
プレミアム優待倶楽部の売上高は計画通り、IR-naviは計画を上回り着地。ESGソリューションは、大企業からの統合報告書の受注により増進。売上高は前年同期比114.0、計画比109.3%の増収。

(単位：百万円)



営業利益増減分析（単独）

プレミアム優待倶楽部のポイント売上増加、サステナビリティソリューションの伸長による売上総利益の増加により、人件費等の増加を吸収し、単独営業利益は前期同期比で116.9%の927百万円



セグメント別実績の概況

売上高はプレミアム優待倶楽部の既存顧客のポイントの増加及び新規受注により前期比117.4%

営業利益は売上高の増加及び売上原価、販売管理費の管理より前期比130.2%

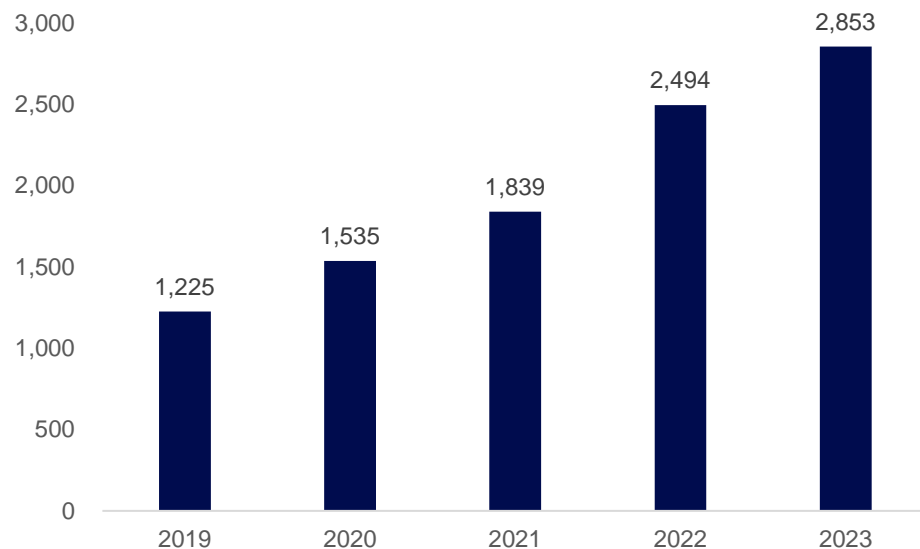
単位：百万円	2022年12月期	2023年12月期	前期比	
	通期	通期	額	%
連結売上高	3,816	4,480	664	117.4
株主管理PF事業	3,394	3,877	483	114.2
プレミアム優待倶楽部	2,494	2,853	359	114.4
IR-navi	274	284	10	103.6
サステナビリティソリューション	548	656	108	119.7
その他	77	83	6	107.8
広告事業	441	642	201	145.6
自社媒体Web広告	268	493	225	184.0
Web広告代理店及びアドバタイジングゲーム	167	145	▲ 22	86.8
その他	5	4	▲ 1	80.0
営業利益	702	914	212	130.2

プレミアム優待倶楽部の概況

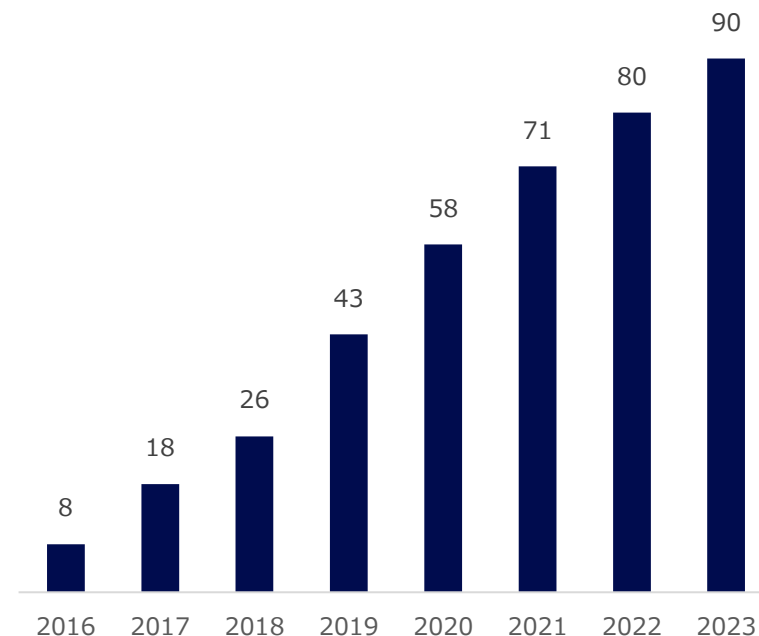
株主管理DX化ニーズの増加、東京証券取引所の市場区分の見直し等の影響による株価・出来高改善ニーズの増加もあり、プレミアム優待倶楽部の契約社数は前期末から10純増の90社
売上高は、既存顧客のポイントの増加及び新規受注により前期比114.4%

売上高推移グラフ

(単位：百万円)



契約社推移グラフ



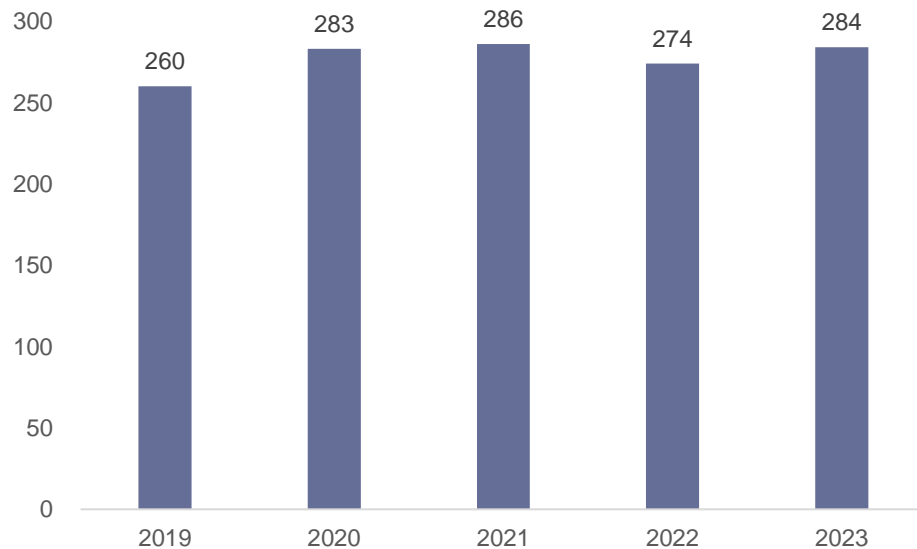
プレミアム優待倶楽部の顧客数は、契約締結済みの顧客数のみカウントしております。その為、新設、廃止を含めた適時開示済みの顧客数とは異なる場合があります。

IR-naviの概況

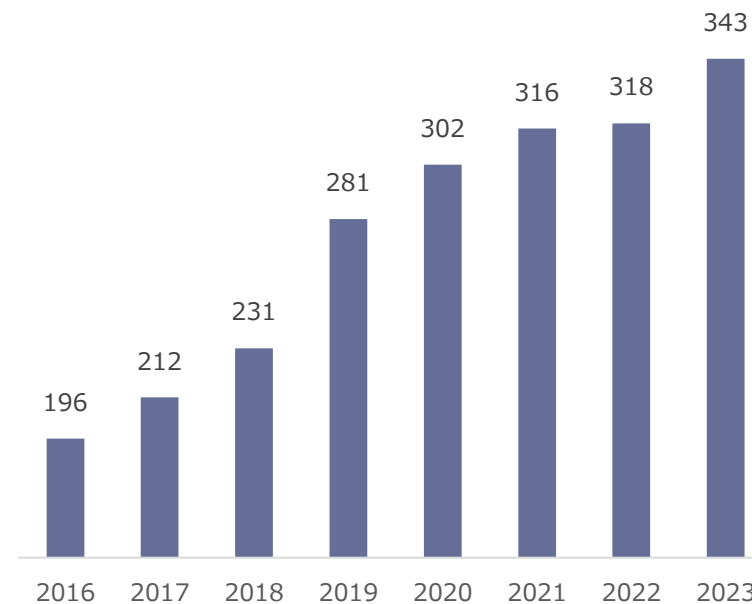
IR-naviの顧客数は、IR-navi単体の顧客数が増加したこと、プレミアム優待倶楽部導入企業も増加したことにより、前期末から25社増加し343社

売上高推移グラフ

(単位：百万円)



契約社推移グラフ



IR-naviの顧客数には、プレミアム優待倶楽部の顧客数が含まれております。IR-navi単体の顧客数は、253社です。

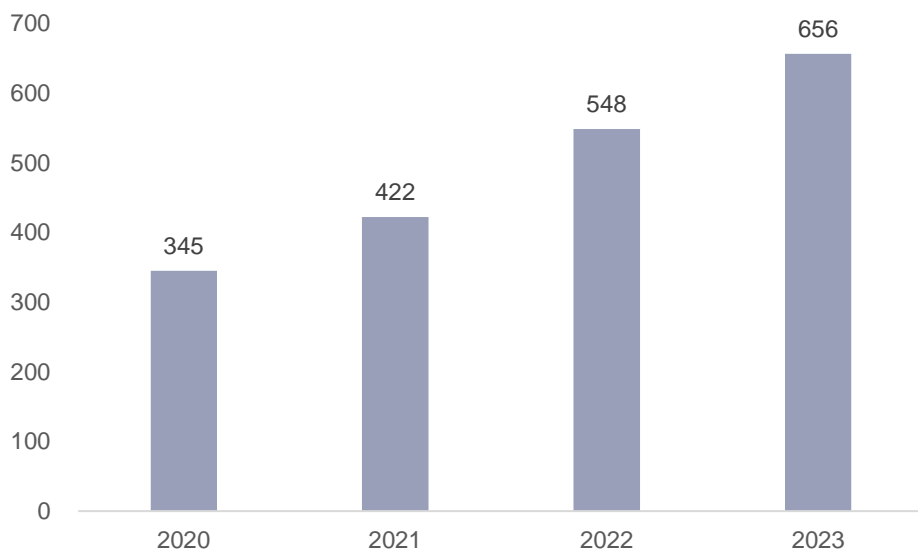
サステナビリティソリューションの概況

大企業における統合報告書の制作受託件数が増加し、プロジェクト数は461件と前期比121.3%

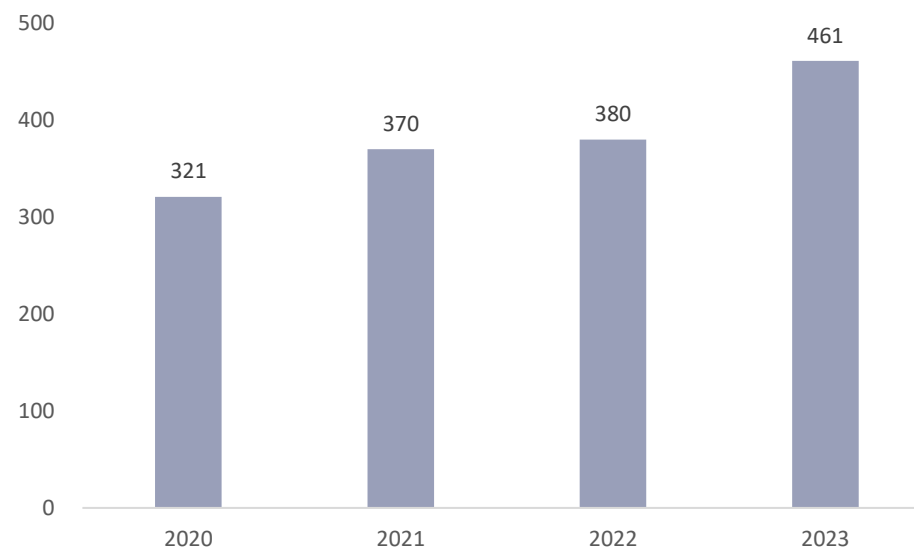
売上高はプロジェクト数の増加及び顧客単価の増加により前期比119.8%

売上高推移グラフ

(単位：百万円)



プロジェクト数推移グラフ



(注) 一企業当たりで複数のプロジェクトが進行するため、プロジェクト数を記載しております。

サステナビリティソリューション事業での制作支援実績

WICIジャパン、日経統合報告書アワードなど、国内外多数の統合報告書優良企業賞を受賞

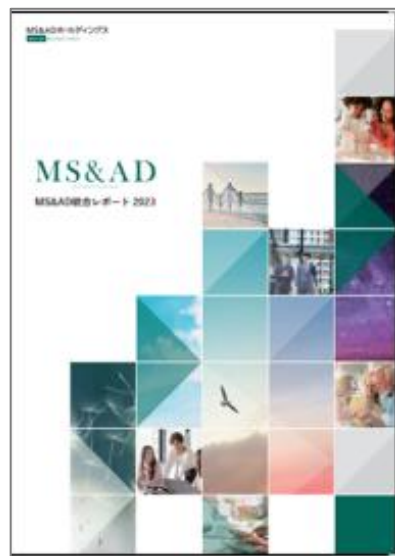
日本精工株式会社



WICIジャパン
統合レポート・アワード2023

Silver Award (2023)

MS&ADインシュランス
グループホールディングス
株式会社



WICIジャパン
統合レポート・
アワード2023

日経
統合報告書
アワード2019

Bronze Award

準グランプリ

株式会社日立製作所



WICIジャパン
統合レポート・
アワード2023

特別賞

日経
統合報告書
アワード2022

グランプリG賞

株式会社タカラトミー



米国MerComm
ARC Award

米国LACP
Vision Award

Bronze

Platinum

連結貸借対照表

(金額単位：百万円)	FY2022	FY2023	前期末との 差額	主な要因
流動資産	2,367	2,795	428	—
現金及び預金	2,065	2,412	347	税引前当期純損益の増加
受取手形、売掛金及び契約資産	259	303	44	—
有形固定資産	55	48	▲ 7	—
無形固定資産	671	581	▲ 90	ソフトウェア仮勘定の減少（△65）、ネットマイル等のれん償却（△23）、顧客関連資産（△2）
資産合計	3,261	3,662	402	—
流動負債	1,535	1,769	235	—
買掛金	272	333	60	債務義務の増加
短期借入金	276	266	▲ 10	ネットマイル借入金の返済（△10）
1年以内返済長期借入金	25	23	▲ 2	—
未払法人税等	168	170	2	—
契約負債	459	634	175	WILLsCoinの増加
固定負債	62	39	▲ 23	長期借入金の返済（△20）
株主資本	1,662	1,850	188	利益剰余金の増加
負債・純資産合計	3,261	3,662	402	—

連結キャッシュフロー計算書

(金額単位：百万円)	FY2022	FY2023	備考
営業活動によるキャッシュフロー	796	947	税金等調整前当期純利益（744）、減価償却費（94）、のれん償却額（23）、貸倒引当金の増減額（2）、ポイント引当金の増加額（△は減少）（△7）、株主優待引当金の増加額（△は減少）（16）、賞与引当金の増加額（△は減少）（2）、役員賞与引当金の増加額（△は減少）（2）、受取利息及び受取配当金（△17）、支払利息（4）、固定資産除却損（11）、売上債権の増減額（△は増加）（△44）、棚卸資産の増減額（△は増加）（△13）、仕入債務の増減額（△は減少）（56）、未払金の増減額（△は減少）（△2）、前受金の増減額（△は減少）（175）、未払消費税等の増減額（△は減少）（23）、その他（△1）、利息及び配当金の受取額（17）、利息の支払額（△4）、法人税等の支払額（△287）
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 258	▲ 1,246	定期預金の預入による支出（△1,000）投資有価証券の取得による支出（△30）、無形固定資産の取得による支出（△182）、敷金及び保証金の回収による収入（14）
フリーキャッシュフロー	538	▲ 298	—
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 114	▲ 354	短期借入金の純増減（△は減少）（△10）、長期借入金の返済による支出（△25）、自己株式の取得による支出（△99）、配当金の支払額（△218）
現金及び現金同等物の増減額	423	▲ 652	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,642	2,065	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,065	1,412	—

目次

1 FY2023 通期実績

 2 通期業績見通し

3 成長戦略

FY2024通期業績見通し

連結売上高は前年同期比11.6%の5,000百万円、単独売上高は前年同期比112.5%の4,364百万円を計画

連結営業利益は前年同期比110.0%の1,006百万円、単独営業利益は前年同期比107.6%の1,000百万円を計画

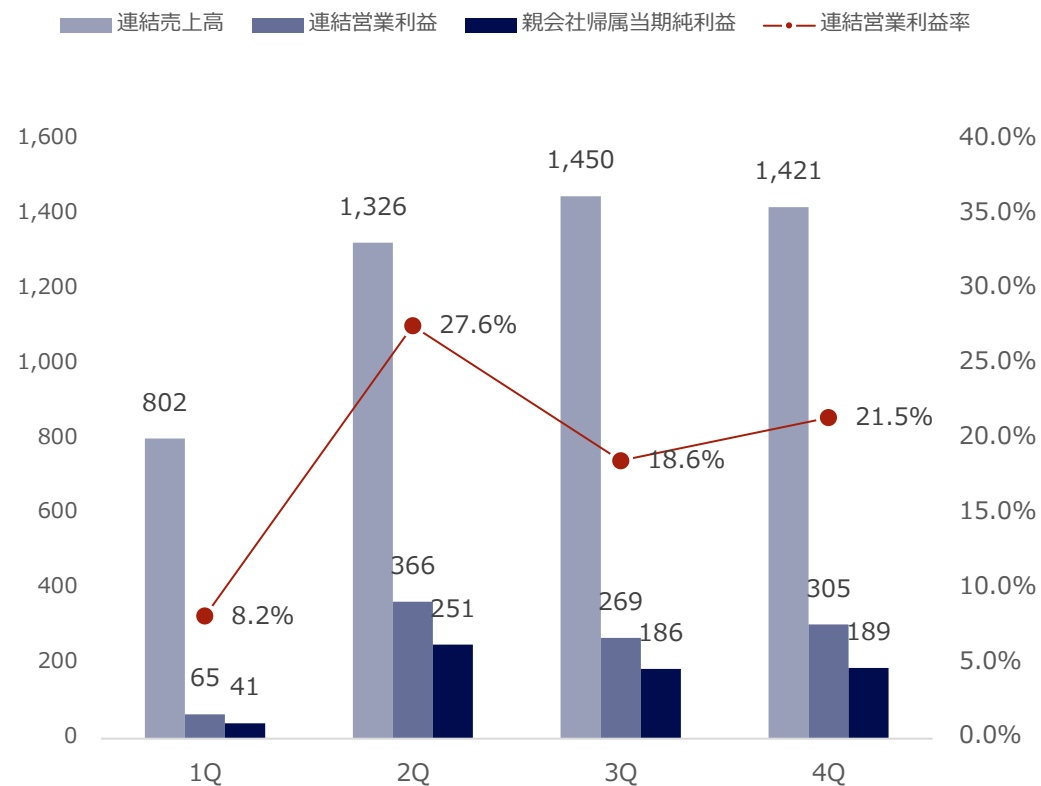
(金額単位：百万円)	FY2023 (実績)		FY2024(計画)		増減率		主な要因
	個別	連結	個別	連結	個別	連結	
売上高	3,879	4,480	4,364	5,000	12.5%	11.6%	・プレミアム優待倶楽部、サステナビリティソリューションの伸長による売上高増加 ・広告代理店事業を中核とするネットマイルの売上
売上原価	2,046	2,392	2,365	2,721	15.5%	13.7%	・プレミアム優待倶楽部、IR-naviの運用保守、サステナビリティソリューション売上高増加に伴う制作原価の増加 ・ネットマイルの広告代理店事業に係る原価の増加
売上総利益	1,833	2,087	1,999	2,278	9.0%	9.1%	—
販売費及び一般管理費	905	1,172	999	1,272	10.3%	8.5%	人件費、広告宣伝費の増加
営業利益	927	914	1,000	1,006	7.6%	10.0%	—
(営業利益率)	23.9%	20.4%	22.9%	20.1%	-1.0PT	-0.3PT	—
経常利益	925	911	1,000	1,002	8.0%	10.1%	—
親会社帰属当期純利益	510	506	666	668	30.2%	32.0%	—

FY2024通期業績見通し

下期にかけて、プレミアム優待倶楽部のポイント売上、及び新規売上が積み上がるトレンドを継続
 連結、及び単独の通期営業利益率は、ともに中長期KPIの20%を超える水準となる見通し。

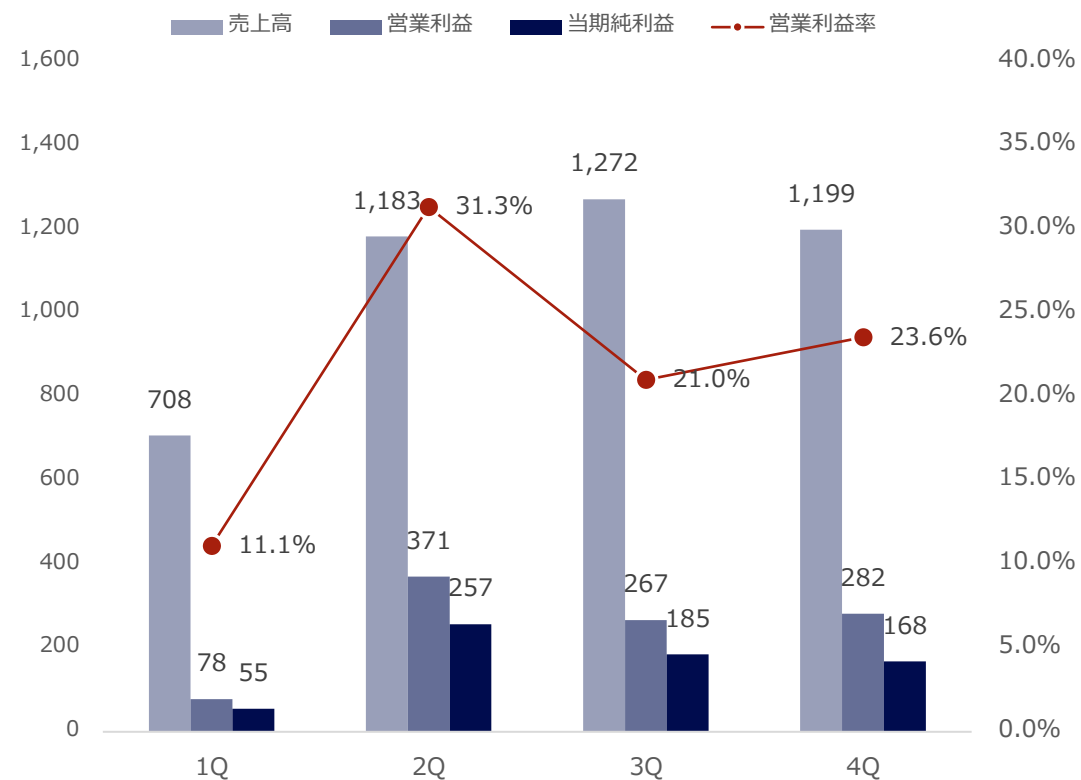
四半期業績見通し（連結）

(単位：百万円)



四半期業績見通し（単独）

(単位：百万円)



目次

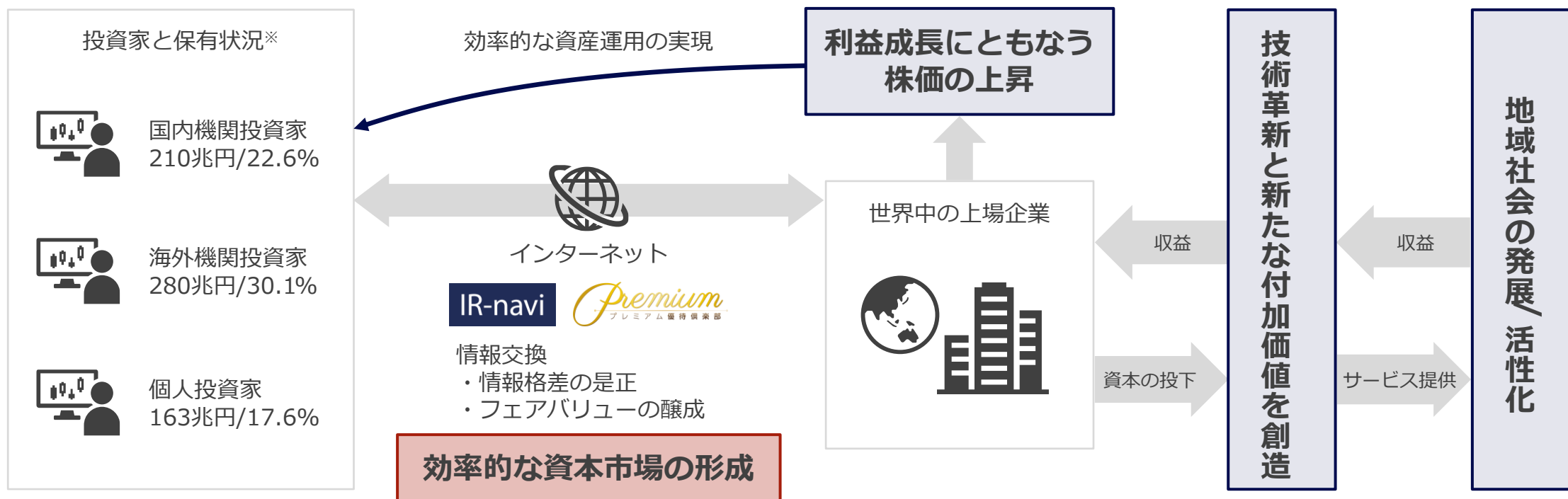
1 FY2023 通期実績

2 通期業績見通し

 3 成長戦略

ウィルズの目指す世界 (MAXIMIZE CORPORATE VALUE)

世界中の上場企業、個人投資家、機関投資家がインターネットを經由してインタラクティブに情報交換を行うことで、効率的な資本市場が形成される。企業は、投資家の資本によって、さらなる技術革新と新たな付加価値を創造し、地域社会の発展に貢献する。投資家は、企業の利益成長にともなう企業価値向上により、効率的な資産運用を実現する。



※東京証券取引所2022年度株式分布状況調査の調査結果を基に当社が算出

上場企業と全ての投資家を繋ぐプラットフォームの確立

1. 個人投資家—プレミアム優待倶楽部を活用したプラットフォーム拡充

- ① ラージキャップ向け：大企業における株主管理DX化ニーズの取り込み
- ② スモールキャップ向け：株価/出来高改善ニーズの取り込み

2. 機関投資家—グローバルレベルで上場企業と投資家を結ぶプラットフォームへ

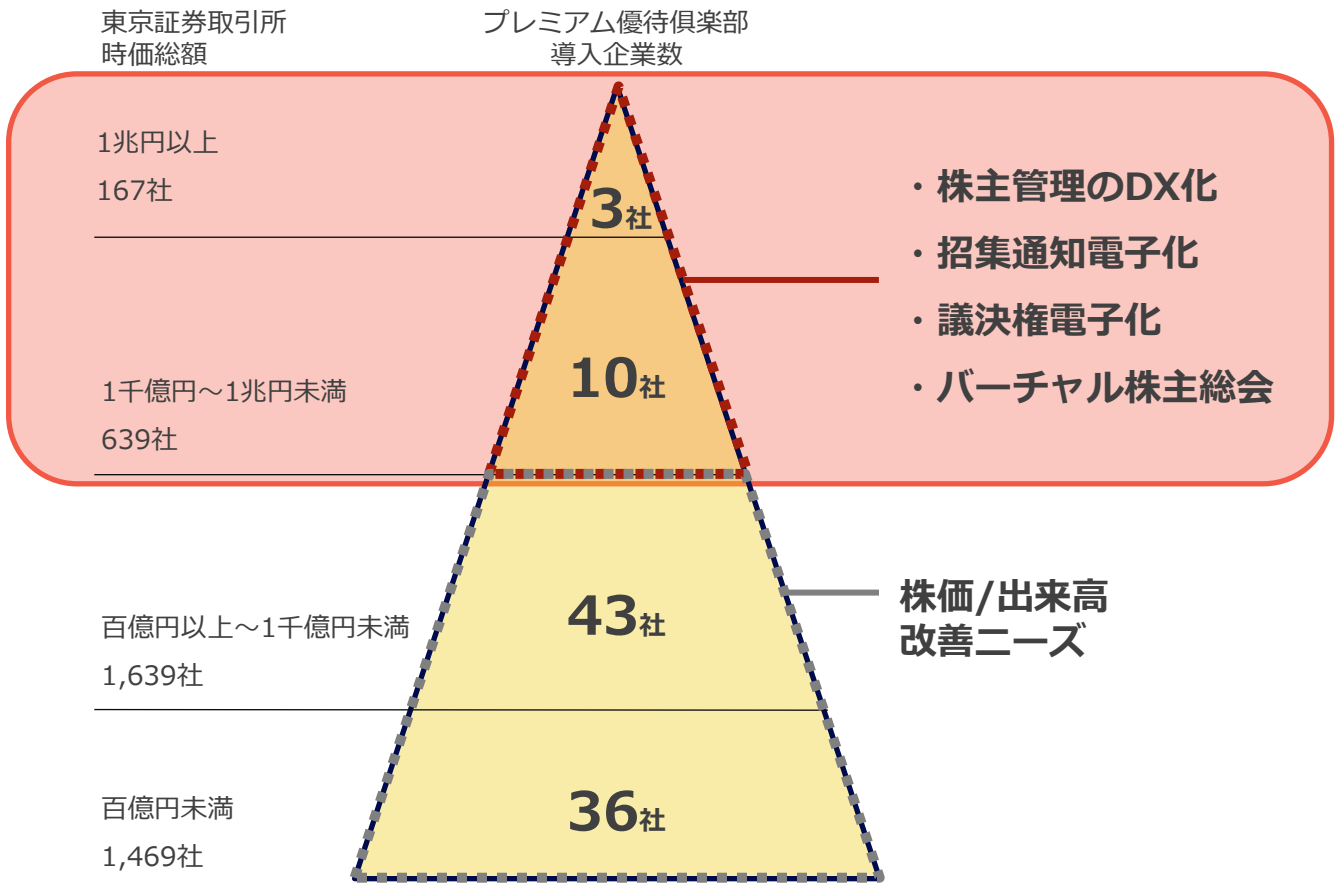
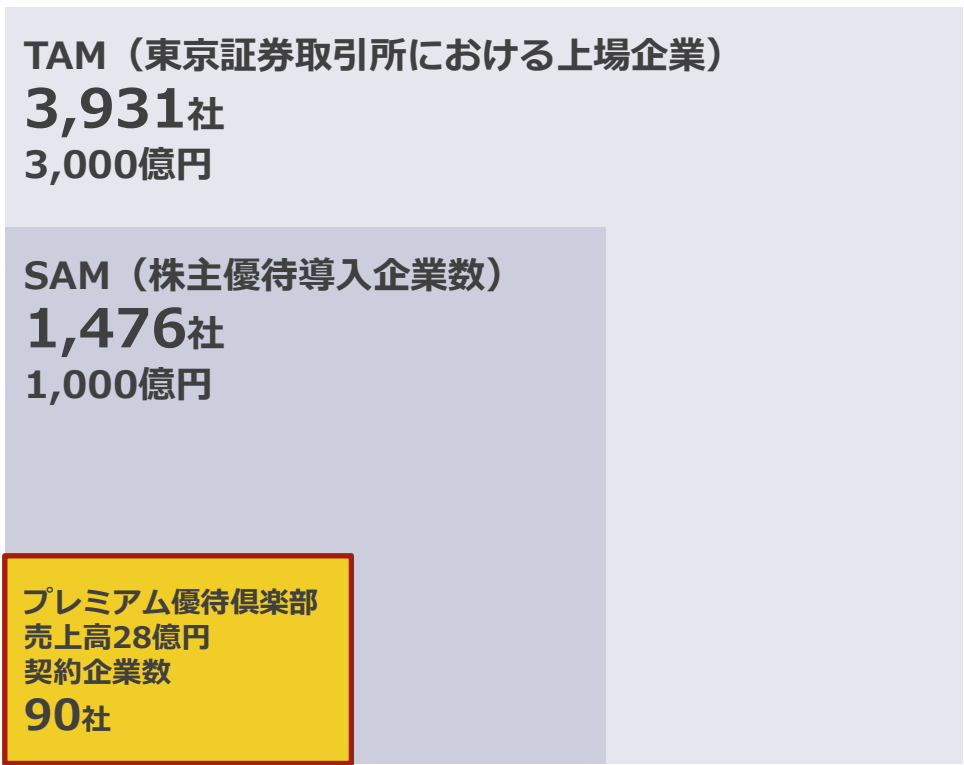
- ① 上場企業向け市場：リニューアル版IR-naviリリースによる顧客数の拡大
- ② 海外ファンドマネジャー・アナリスト向け展開：国内/海外投資家と上場企業のネットワークの確立
- ③ IRカレンダー機能の拡充：スク립トアジアの決算説明スク립ト（日本語/英語）機能

3. サステナビリティソリューション

- ① 中長期視点の統合ストーリー作成支援
- ② グローバルな開示要請に対応するギャップ分析や開示コンサルティング
- ③ レポーティングユニバースを踏まえた効果的な媒体展開とDX化

プレミアム優待倶楽部：株価/出来高改善ニーズの取り込み (ラージキャップ向け)

潜在市場規模



株主管理のDX化の流れを背景に、大手企業によるプレミアム優待倶楽部の導入も増加しており、
大きな成長ポテンシャルが存在

プレミアム優待倶楽部：株価/出来高改善ニーズの取り込み (レンジキャップ向け)

株主管理のDX化及び個人株主とのコミュニケーション促進の流れを背景に、日清食品ホールディングス、味の素、出光興産、フジテック、池田泉州ホールディングスがプレミアム優待倶楽部を導入。
株主数10万人を超える企業様からの引き合いが増加



日清食品ホールディングス株式会社

Eat Well, Live Well.



AJINOMOTO®



池田泉州ホールディングス



idemitsu

FUJITEC

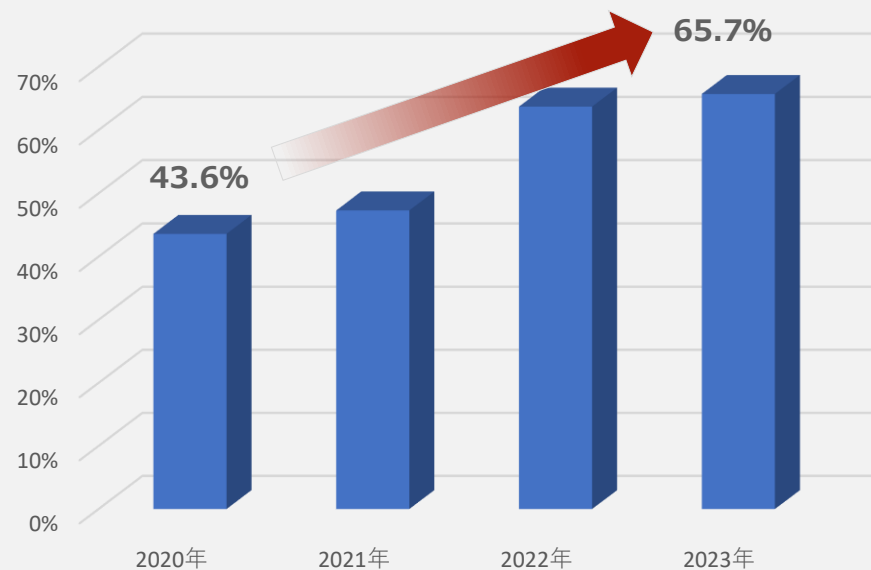


プレミアム優待倶楽部：株価/出来高改善ニーズの取り込み (ラージキャップ向け)

A社

株主向けのアンケートやオンライン説明会を実施。
株主との対話を促進することで、電子登録株主比率
が導入時の43.6%から2023年に65.7%に上昇。

A社電子登録株主比率



- ・ オンライン新製品説明会や株主様向け限定記事配信
- ・ 社長ライブ説明会を実施
- ・ 個人株主とのコミュニケーションを強化
- ・ 電子議決権の回収

出光興産（いでみつコネクト）

味の素（株主様向けイベント）

いでみつコネクト 株主様専用WEBサイト

「いでみつコネクト」会員登録メリット

- 1 最新ニュースなどのタイムリーなお届け
- 2 株主優待・株主限定体験イベントへのご参加
- 3 株主限定コンテンツのご利用
- 4 株主優待・社長生誕イベントライブ配信のご視聴

株主の皆様とのより良いコミュニケーションを目指してまいります

最新会員登録 ログインページ

株主限定記事 Voice of いでみつ現場にコネクト！ Interview

Idemitsu Kosan Advanced Technology Research Laboratories

開発者に聞く！ バッテリー-EV用全固体電池、固体電解質とは

海洋プラゴミから油を生成！ 資源循環ソリューションの社会実装を目指して

期待者に聞く！ CO2を集めて埋めて役立つ「CCUS」とは

味の素 株主様向けイベント

2023年度 「株主様施設見学デー」 2~3月開催分 <事前応募&抽選前> 【応募受付終了】

【募集要項】

「株主様施設見学デー」

▼「株主様施設見学デー」お申し込みはこちらから
※応募受付は終了しました。ご応募ありがとうございました。
▶ 味の素株式会社・プレミアム優待倶楽部 (premium-youtaiclub.jp)
* 株主様専用WEBサイトへの会員登録が必要です。

【応募締切】 2023年12月27日 (木) 23時59分

「オンライン新製品説明会」<事前応募不要>

【対象】
100株以上保有の株主様 (2023年9月30日現在の株主名簿に記載された株主様)

【開催日時】
2024年2月8日 (木) 10:30~11:45 (予定)

【アクセス方法】
▶ 株主様専用WEBサイトにライブ配信
▶ 味の素株式会社・プレミアム優待倶楽部 (premium-youtaiclub.jp)
* 株主様専用WEBサイトへの会員登録が必要です。

プレミアム優待倶楽部：株価/出来高改善ニーズの取り込み (スモールキャップ向け)

東京証券取引所の市場区分の見直しや資本コスト、株価を意識した経営の実現に向けた対応の要請

これまで以上に株価と資本コストを意識した企業が増加 ➡ **プレミアム優待倶楽部へのニーズが高まる**

2023年度のプレミアム優待倶楽部導入19社（ポイント優待を実施企業）における適時開示後の株価パフォーマンス
開示翌日の終値平均値は前日比+8%、最高値は前日比+28%、
適時開示のタイミング及びポイント利回りの設計により、株価パフォーマンスにばらつきが生じる



HEROZと共同開発中のAIを活用した株価予測により、
より株価パフォーマンスを高めるポイントシミュレーションシステムを構築し、付加価値向上を図る

プレミアム優待倶楽部：株価/出来高改善ニーズの取り込み (スモールキャップ向け)

事例1



3月1日
【高値】
終値963円

12月12日
【導入前】
終値629円

2022/12/12
株主優待制度の導入に関するお知らせ

2023/01/16
令和5年3月期配当予想・修正

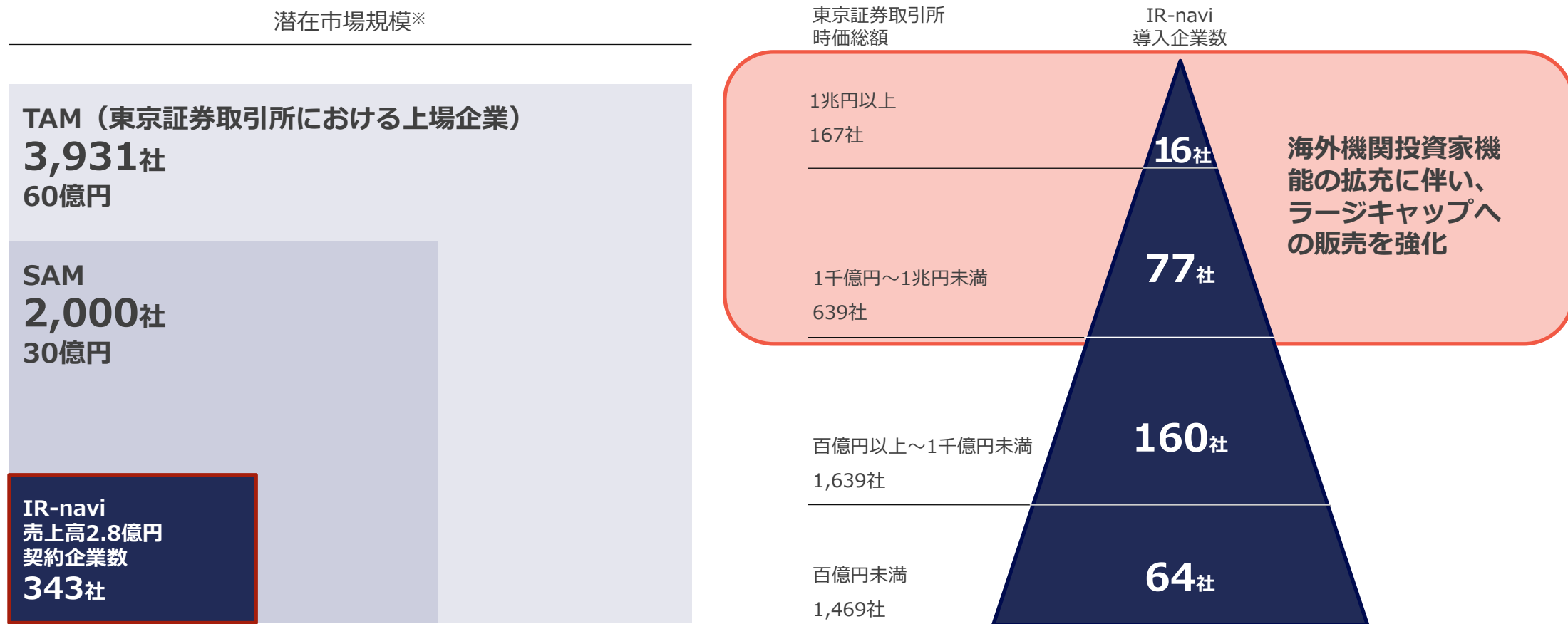
2023/2/12
当社の流通株式時価総額向上を目的とする株式需給緩衝信託の設定に関するお知らせ

プレミアム優待倶楽部：株価/出来高改善ニーズの取り込み (スモールキャップ向け)

事例2



IR-navi : 国内における潜在市場規模（上場企業マーケット）



※ 東京証券取引所の全上場企業数×IR-navi販売価格

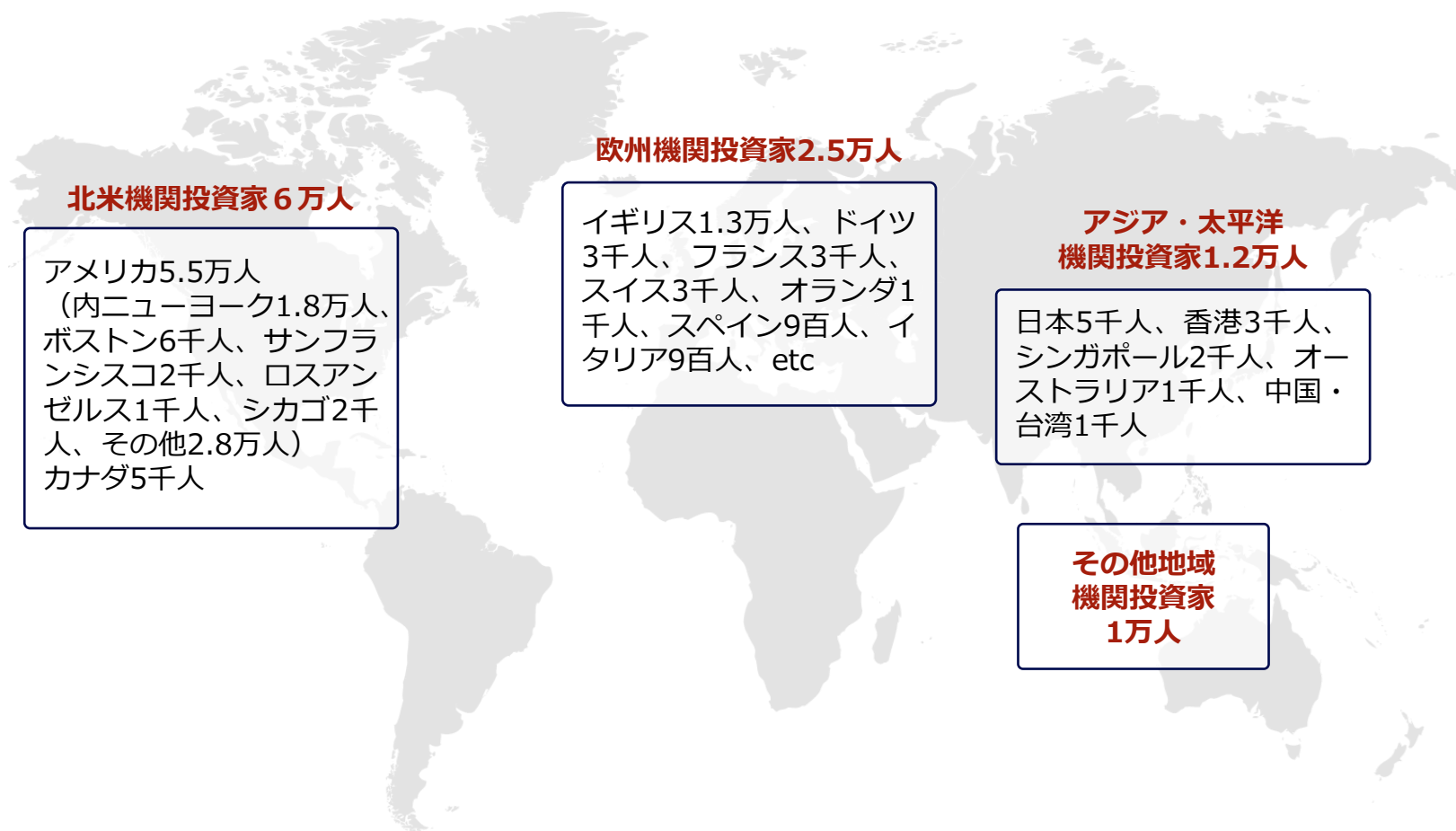
**IR-naviのリニューアルによりグローバルレベルで
上場企業と投資家を結ぶプラットフォームへ進化**

IR-navi : 海外ファンドマネジャー・アナリスト向けに展開

上場企業と機関投資家を繋ぐミーティングアレンジ機能を実装。

上場企業は、IR-naviを通じて機関投資家からミーティング依頼の受付やウェブミーティングも可能に。

資本市場向けのマネタイズも視野に開発を進める。（潜在市場規模約200億円）



IR-navi : 海外ファンドマネジャー・アナリスト向けに展開

バイサイド向けIR-naviは国内上場企業だけでなく、海外の主要な上場企業6,651社をカバー。
 セクター別ウェイト比較等が可能に

グローバル企業データ (sample)

IR-navi		Investor Relations Navigation System						
DASHBOARD		INVESTOR OWNERSHIP STATUS	INVESTOR TARGETING	REPORTING	MYLIST	INVESTOR CONTACT	INVESTOR PROFILE	PREMIUM BENEFITS CLUB
Home / Investor targeting / Comparison to other companies -Overseas-								
<input type="checkbox"/>		↓ APPLE INC COM[aAPL]	ALPHABET INC CL C[gOOG]	MICROSOFT CORP COM[mSFT]	AMAZON COM INC COM[aMZN]			
<input type="checkbox"/>	1	The Vanguard Group, Inc.	238,189,355,885	54,758,571,492	232,448,329,923	109,351,904,313		
<input type="checkbox"/>	2	Berkshire Hathaway, Inc. (Investment Management)	176,272,840,346	0	0	1,519,400,000		
<input type="checkbox"/>	3	BlackRock Fund Advisors	129,318,051,170	32,347,391,469	128,967,021,725	59,259,848,781		
<input type="checkbox"/>	4	SSgA Funds Management, Inc.	109,605,729,076	25,868,401,077	108,471,423,678	50,512,349,377		
<input type="checkbox"/>	5	Geode Capital Management LLC	57,008,724,067	13,945,112,286	56,864,349,891	26,772,899,177		
<input type="checkbox"/>	6	Fidelity Management & Research Co. LLC	49,924,066,737	15,400,626,756	70,761,713,945	41,599,854,680		
<input type="checkbox"/>	7	T. Rowe Price Associates, Inc. (Investment Management)	37,867,343,142	14,258,840,928	53,369,751,509	29,728,223,493		
<input type="checkbox"/>	8	Norges Bank Investment Management	32,224,569,743	4,859,589,130	32,458,616,853	14,947,262,811		

IR-navi : 常に進化するIR-naviへ

今後も段階的な機能改善・機能追加により常に進化するIR-naviへ
フェーズ2以降は、海外投資家データベースの拡充を中心に、
面談履歴管理機能の改善、バイサイド・セルサイドサービスの機能追加など、
新機能を適宜リリース予定

- ・ UI/UXの刷新
- ・ ミーティングアレンジ機能の追加
- ・ フロントエンドの高速化
- ・ バイサイド、セルサイド用の機能追加

- ・ 海外ミューチュアルファンド情報の拡充
- ・ 海外版ウェイトインデックスの追加
- ・ バイサイド、セルサイド用の機能追加
- ・ 英語版の追加 etc.

2024年3月
IR-navi
リニューアル
フェーズ1

IR-navi
リニューアル
フェーズ2

IR-navi
リニューアル
フェーズ3

サービス領域の拡大

ディスクレーム:本資料の取り扱いについて

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 当社株式へ投資される際は、投資家ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

